

コロナ禍につき、大々的な周年記念事業は難しい状況ですが、開学40周年に合わせて、各種事業を予定しています。

## 図書館連携企画

**1 国短×滝川 連携のあゆみ展**  
9/24～10/26  
これまでに滝川市と短大が連携して実施した事業の様子の写真パネルや関連する図書を展示

**2 國學院大學図書館所蔵古文書 展示「天下人とその時代」**  
10/8～10/21  
※市立図書館の展示は10/15まで  
國學院大學図書館が所蔵する信長・秀吉・家康の古文書を展示

場 所 ①②③ 短大図書館および市立図書館  
④ 短大工作室 ⑤ 市役所1階ロビー

**3 ブックカバーの配布**  
【先着】1,000枚  
短大のマスコットキャラクター「こくびょん」と市立図書館のマークをモチーフにしたブックカバーを作成し配布

**4 絵本作家・柴田ケイコワークショップ**  
9/17 柴田ケイコさんによる絵本の読み聞かせとワークショップ

**5 講演会 堀越祐一准教授の『古文書からみる天下人の時代』**  
10/15 来年の大河ドラマをもっと面白く見るための講演会



## 特別講演会

【演題】「地域を見つめ、地域を動かす」  
—新学部への思い—  
【講師】國學院大學観光まちづくり学部  
学部長 西村 幸夫 氏

9月16日 金  
18:00～19:30

場所：ホテル三浦華園



國學院大學は令和4年4月、「観光まちづくり学部」をたまプラーザキャンパス（横浜市）に開設

## これからの短大

令和4年、学校法人國學院大學は、創立150周年（短大は50周年）に向けて、絶えず変化する環境に対応できる人材を積極的に養成し、社会に貢献する学校法人を目指すため、中期5か年計画をスタートさせました。短大では、地域で活躍し貢献できる人材を育成することを教育目標に掲げ、少人数教育のメリットを最大限に生かせる教育体制の強化、地域と連携した教育体制の再構築、キャリア支援の質的量的向上、北海道内全域からの募集強化を柱として、卒業する学生がそれぞれの地域社会で活躍し貢献できる人材を育成する短大となることを目指します。

### 國學院大學北海道短期大学部 中期5か年計画

戦略1	キャリア強化による地域で活躍できる人材の輩出	進路希望とのマッチングの実現。就職対策として、企業との関係構築を強化する。新たな公務員試験対策として選抜試験・奨学金・公務員試験対策講座等を検討し合格者の増加を目指す。國學院大學観光まちづくり学部への編入学環境整備を目指す。
戦略2	教育の質を保證する仕組みの強化	学内の自己点検・評価体制を強化する。学習成果と3つのポリシーを検討・見直しする。カリキュラムの適宜改定とICT環境の整備により教育の質の保證を促進する。
戦略3	地域活性化に向けた多様な取り組みの推進	授業の市民開放。地域活性化の教養科目の開設。國學院大學観光まちづくり学部との連携・協力による地域活性化人材の育成とプラットフォームを構築し地域活性化を促進する。
戦略4	新システムの導入と研修による、きめ細かい個別指導の実施	学生情報を一元化するため学生カルテを推進する。学業・課外活動・地域活動・就職活動の状況を閲覧できるポートフォリオ、授業の重点や成績評価を可視化するルーブリックを導入する。
戦略5	学生募集の強化	キャリアセンターの機能充実。学生が希望する職種や企業への就職促進。幼保コース授業料2分の1奨学金制度の積極的活用と幼保人材確保に苦慮している道内自治体との連携強化。

## 未来を担う 地域の 人材育成

本学は、昭和57年に滝川市に開学して以来40周年を迎えました。この間、開学時の関係者の熱い思いを胸に刻み、大きく変化する社会情勢や進学志向に微力ながらも一つひとつ丁寧に対応しながら、地域の高等教育機関としての役割を着実に推進してきました。これもひとえに皆様の厚いご支援の賜物と感謝申し上げます。このたび40周年を迎えるにあたり、本来であれば、これまでの感謝と今後さらなる発展を目指すための決意を表明すべきところではありますが、コロナの感染再拡大が進む状況に鑑みて、規模を縮小した記念事業といたしました。その一つ、本学にとって國學院大學の新学部、観光まちづくり学部との連携・協力が重要になるの思いのもと、学部長の西村教授をお招きして、地域の方々ともに学びたいと考え、記念講演会を開催しますので、多くの皆様にご来場いただきたいと存じます。

### 一歩ずつの積み重ねで40年

「短大が開学してから、もう40年か」と時間の経過を感じる方もいれば、「短大は物心付いたときから身近に存在していたので、40年の実感が湧かない」という方もいるでしょう。それだけ、短大は滝川市と密着した存在となり、短大が存在しない滝川市を想像できません。この40年という年月は一朝一夕ではなく、一歩ずつ築き上げた歴史です。その歩みが、さらに50年、100年と、本学のように歴史を積み重ねていく姿を皆さん一緒に見守ってください。

【特集】 國學院大學北海道短期大学部40周年 おわり  
学長 平野 泰樹

## 卒業生

# Interview

短大を卒業された皆さんは、さまざまな地域や分野で活躍され、その拠点を滝川市に置いている方もたくさんいます。そんな方々に短大を志望したきっかけや、2年間の学生生活を経て、滝川市で働こうと思った理由などをお聞きました。

### 自分の経験を子どもたちに還元したい

私は小学生の頃から祖父の戦争体験を聞くうちに、戦前戦後の昭和史について学びたいとの思いに立ち、歴史学に定評のある國學院大學への編入学を視野に短大を受験しました。合格を機に初めて地元（埼玉県春日部市）を離れましたが、親や親戚は北海道や聞き慣れない滝川という地名に驚きを隠せなかったようです。平成27年短大入学以降は、そらぶちキッズキャンプや川の科学館等でのボランティアを行ったり、アメリカのスプリングフィールド大学に短期留学したりと積極的に行動しましたが、中でも人造石油に係る研究はライフワークといえるものでした。当時、田村学長による地域文化の講義で、東洋一の人造石油工場が滝川に存在していた事実を知り、興味をもった私は人造石油の研究に没頭するようになりました。その姿勢は本校編入学後も変わらず、時には国立国会図書館や防衛省で調べ、時には滝川まで来て調べるほどでした。そのため、卒業後も研究したいとの意欲を教授に伝えたところ、大学院の道を勧めていただきました。

大学院修了後の進路は、取得した教員免許をもとに、教師を目指しました。地元には目もくれず、北海道の教員採用試験のみを受けて、令和3年度に採用となります。配置先については希望できないのですが、まさかの滝川市。現在、滝川第二小学校で5年生の担任を受け持っています。

趣味は旅行、酒蔵・史跡・御朱印巡り、献血です。



国文学科 平成28年度卒業

滝川市立滝川第二小学校 教諭  
大井 勇輝 さん  
(埼玉県春日部市出身)

### 大井さんが取得した免許・資格等

小学校1種、中学校(国語)2種、高等学校(公民)1種、中学校(社会)専修、高等学校(地理歴史)専修、学芸員、司書教諭、社会教育主事、準中級レクリエーションインストラクター、裏千家初級、日本酒ナビゲーター

### フットパスや親友を通じて自分に自信が

私の出身は札幌市の発寒ですが、札幌の環境が自分には合わず、どこか教養を学べる短期大学を探していたところ、担任の先生から國學院短大を紹介いただきました。もともと芦別市に自分の祖母が、滝川市に親戚が住んでいたこともあって、とても馴染みがあり好きな街でしたので、短大進学の決め手となりました。

入学してしばらくは、自分のしたいことがなかなか見つからなかったのですが、ゼミの先生から「フットパスの研究をしてみないか」と声を掛けていただき、その流れでフットパスの運営団体に大変お世話になりました。人が温かくて優しく、参加者みんなが友達のように接してくださり、札幌では味わえないような深いつながりを感じました。また、フットパスや親友を通じて、どんどん自信につながり、さまざまな活動や依頼を受けるようになって、高校の先生から新貝変わったと言われるようになりました。

短大卒業後の進路は、札幌市に戻ることは考えず、滝川市か芦別市で就職したいと思い、また、これからもフットパスに関わることができたらとの思いから、滝川市の(株)端本堂カンパニーに就職しました。現在、主に給与を担当しながら、建設業経理士の資格取得に向けて頑張っています。

趣味は個人経営の喫茶店巡りと読書です。



総合教養学科 令和2年度卒業

(株)端本堂カンパニー 勤務  
新貝 麻湜 さん  
(札幌市出身)

### 出 会 い

札幌では全然自信がなく、目立たない自分が、短大で、心から支えてくれる親友に出会えたことで、大きな自信につながりました。その親友が編入学した本学を卒業後（来年）、滝川に戻る予定なので、今からとても楽しみです。